
日本経済展望

2018年11月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピック	p. 7
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	(Tel: 03-6833-6334 Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
外需	石田 宏一	(Tel: 03-6833-2806 Mail: ishida.koichi@jri.co.jp)
企業部門	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228 Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
家計部門、雇用賃金	佐藤 貴憲	(Tel: 03-6833-1694 Mail: sato.takanori@jri.co.jp)
トピック	佐藤 貴憲	
金利	石田 宏一	
ファンダメンタルズ（現状分析）	浅野 洋介	(Tel: 03-6833-6334 Mail: asano.tP31756@jri.co.jp)

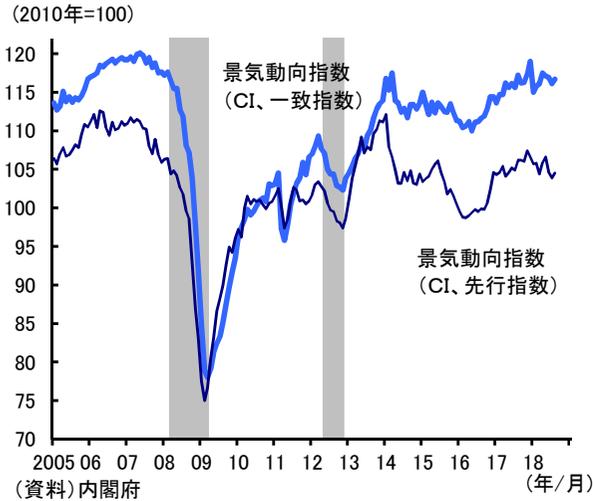
本資料は2018年11月2日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気回復に足踏み感

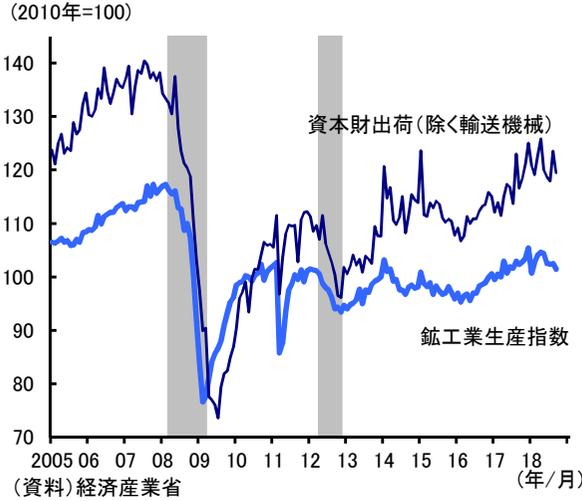
景気

CI一致指数は、耐久消費財や投資財の出荷増を背景に、4ヵ月ぶりの上昇



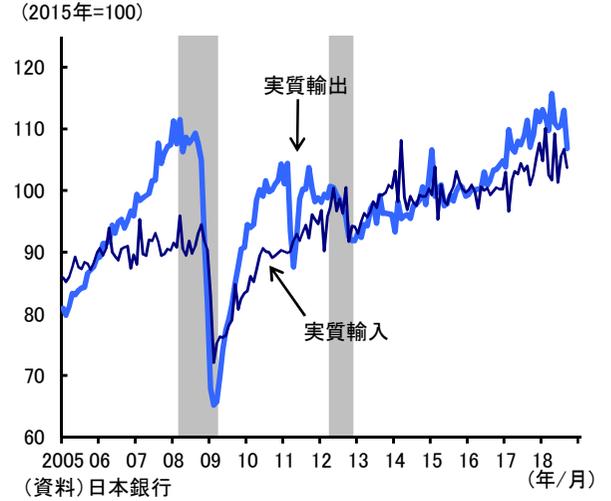
企業

鉱工業生産は、自然災害による工場の稼働停止の影響もあって減産



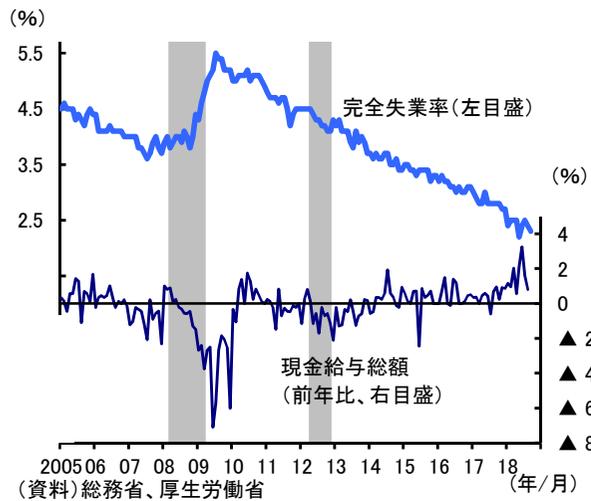
外需

輸出は関西国際空港の一時閉鎖で減少
輸入は鉱物性燃料を中心に減少



雇用所得

失業率は25年ぶりの低水準圏
名目賃金は振れを伴いつつも増加基調



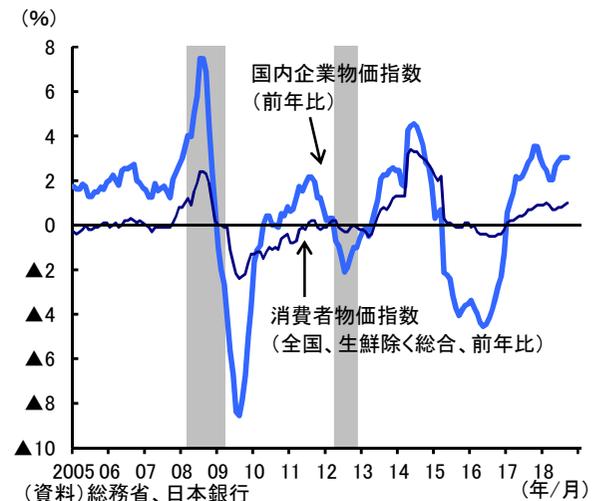
家計

実質消費は自動車を中心に増加
住宅着工は貸家が減少



物価

企業物価は横ばい
消費者物価はエネルギーを中心にジリ高



※シャドー部は景気後退期

回復基調ながら、足許では弱い動き

◆鉱工業生産は低迷が持続

9月の鉱工業生産指数は前月比▲1.1%と、事前の増産予想から下振れ。7月の西日本豪雨による操業停止の影響が残っていることに加え、9月の関西国際空港の閉鎖による電子部品輸出の減少もあって、夏場以降は弱含み状態。もっとも、10月は前月比+6.0%（予測指数の傾向的な誤りを修正した経済産業省先行き試算値では+0.9%）、11月は同▲0.8%と、挽回生産などを背景に持ち直す計画。

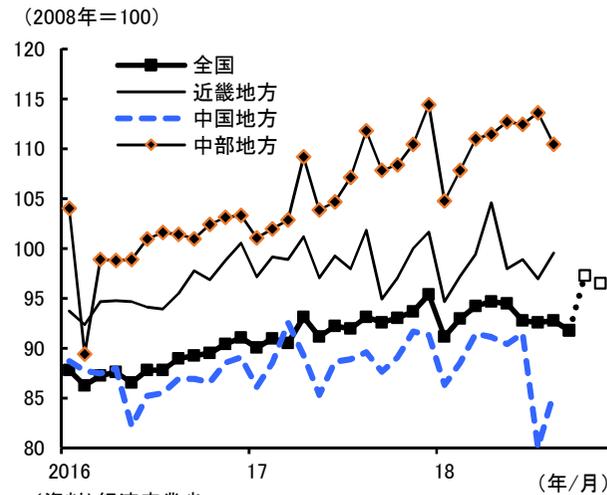
◆家計部門は足踏み

8月の消費総合指数は2カ月連続で減少。7月の西日本豪雨や8月の台風などの自然災害を受けて、小売店を中心とした臨時休業や営業時間短縮が響いたほか、国内旅行の手控えやキャンセルも下押しに寄与。

◆一時的な下振れ

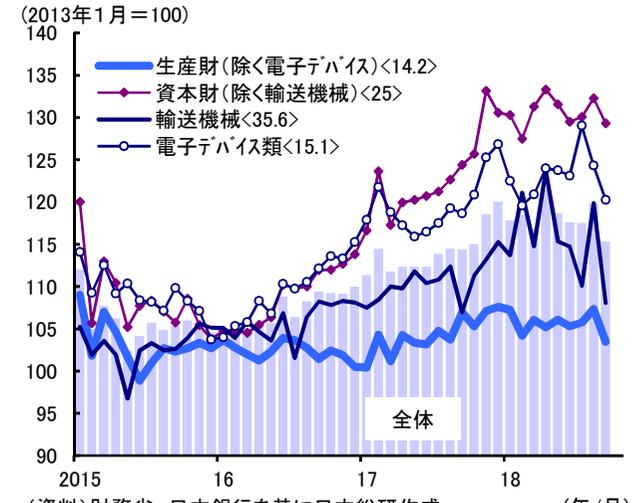
もっとも、堅調な企業業績・所得環境に支えられて、景気回復基調は続いていると判断。設備投資の先行指標である機械受注は、一般機械・輸送機械で好調なほか、非製造業でも持ち直しの動き。9月の景気ウォッチャー調査では、自然災害の影響を不安視するコメントも散見されたものの、先行き判断DIは51.3と好不況の分かれ目となる50を上回る水準を維持。

地域別の鉱工業生産(季調値)



(資料) 経済産業省
(注) 全国の白抜きは予測調査の見込み値。

財別実質輸出(季調値)



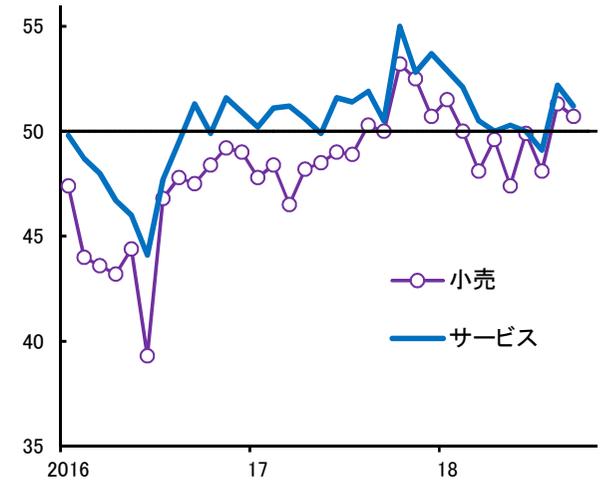
(資料) 財務省、日本銀行を基に日本総研作成
(注) <>内の数字は、2017年名目輸出に占めるウェイト。

消費総合指数(季調値)



(資料) 内閣府
(注) 後方3カ月移動平均。

景気ウォッチャー調査(先行き判断DI、季調値)



(資料) 内閣府

輸出は再び緩やかな増加トレンドへ

◆インバウンド需要は弱含み

インバウンド需要は、これまでの増加トレンドが止まり、7月以降は大きく落ち込み。西日本豪雨や台風、地震などにより、訪日外客数は6月の270万人をピークに月10万人超のペースで減少。

もっとも、こうした自然災害による下振れは一時的な動きにとどまる見込み。アジアの所得拡大や、わが国の受入環境の整備が続くなか、自然災害の影響が剥落するに伴い、訪日外客数は持ち直していく見通し。

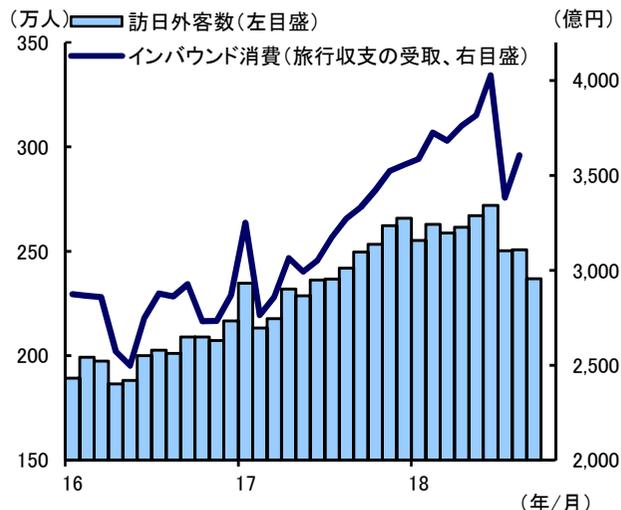
◆財輸出は緩やかに増加

財輸出は、年初以降足踏み状態。スマートフォン需要の一服から、アジア向けの電子部品・デバイスの増勢が鈍化したことなどが背景。さらに9月には、関西国際空港の閉鎖で輸出は一段と減少。成田や中部空港などへの振替が実施されたものの、関空の落ち込み分をカバーできず。

もっとも、足許の停滞は一時的な増勢鈍化と判断。先行きは、資本財を中心に緩やかに増加していく見通し。主要輸出先であるアジア新興国での製造設備の高度化やインフラ関連の投資需要の拡大を背景に、堅調に推移する見込み。

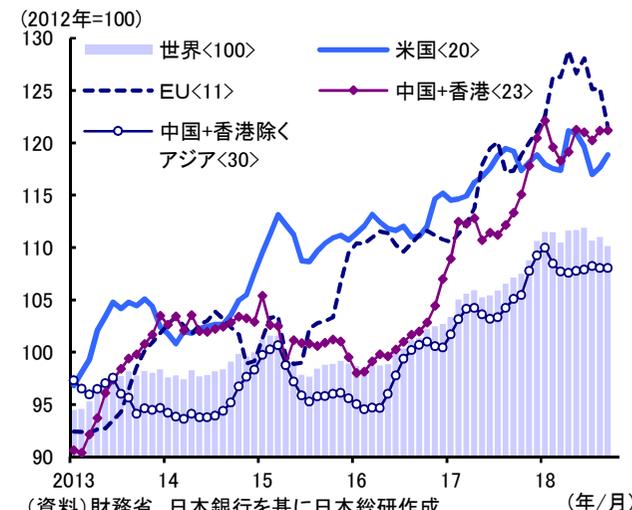
なお、米国との貿易摩擦がリスク。日米物品貿易協定（TAG）の交渉開始で当面自動車関税の引き上げは猶予されたものの、米政権が自動車関連の関税引き上げに踏み切れば、わが国輸出に大きな影響。

訪日外客数とインバウンド消費（季調値）



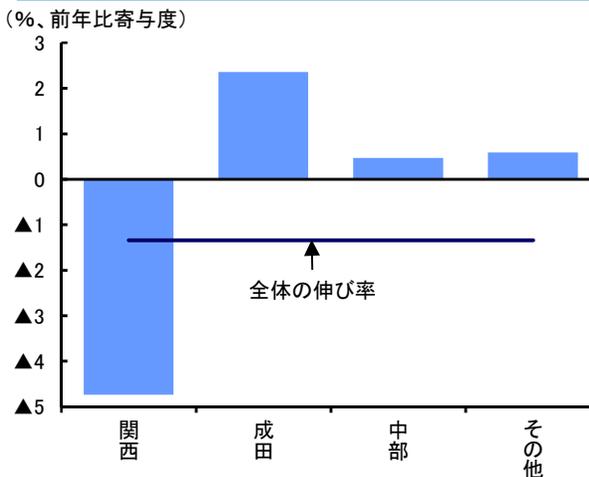
(資料)財務省、日本政府観光局を基に日本総研作成

実質輸出（季調値）



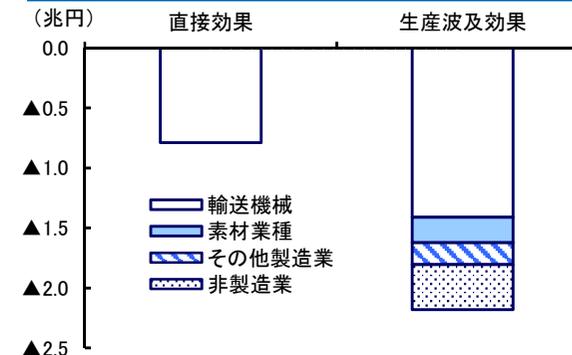
(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成
(注)後方3か月移動平均。<>は2017年シェア。

税関別の輸出額（2018年9月）



(資料)財務省を基に日本総研作成

米国自動車関税引き上げの影響（試算）



(資料)Autodata、BLS、BEA、財務省、経産省等を基に日本総研作成
(注)米国の実質所得(GDP)、輸入車の相対価格(輸送機械の消費者物価と輸入物価の比)を説明変数とした米国輸入車消費関数を推計。輸入物価が22%(1.25/1.025)上昇した場合の輸入車販売台数の減少分を基に、わが国の対米自動車輸出額の減少額を試算(=直接効果)。生産波及効果は経産省「平成26年 延長産業連関表(平成23年基準)」を基に試算。

企業収益が堅調なか、設備投資は増加基調

◆企業収益は堅調

企業収益は堅調が持続。2018年度売上高経常利益率は、過去最高水準となった前年度に比べると低下する見込みながら、依然として高水準を維持。

個人消費、設備投資の持ち直しのほか、販売価格上昇が売上増加に寄与。人手不足の深刻化を背景とした人件費の増加は引き続き収益下押し要因となるものの、売上がそれ以上に増加するため、労働分配率は低水準で推移。

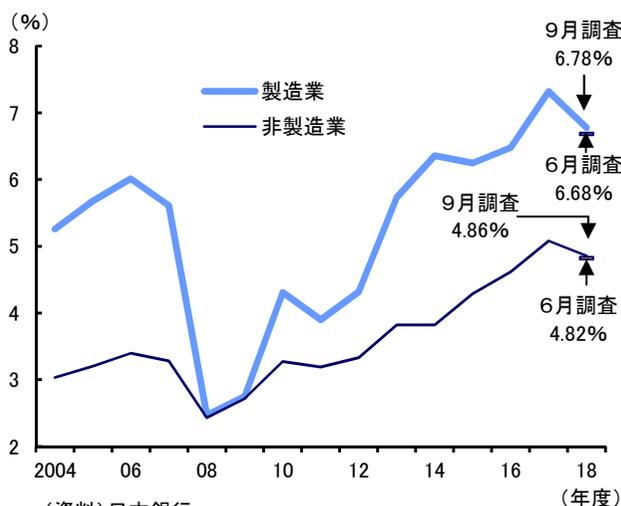
先行きも、企業収益は緩やかな回復が続く見込み。変動費の抑制などで収益体質を強化してきた結果、損益分岐点比率が大きく低下。売上の増加が本業の利益拡大に結びつきやすい構図に。

◆設備投資は増加基調

設備投資は、潤沢なキャッシュフローのもとで、人手不足を背景とした合理化・省力化投資等を中心に増加基調。さらに、今後はこれまでの研究開発の成果を事業化するような前向きな投資の拡大も期待可能。

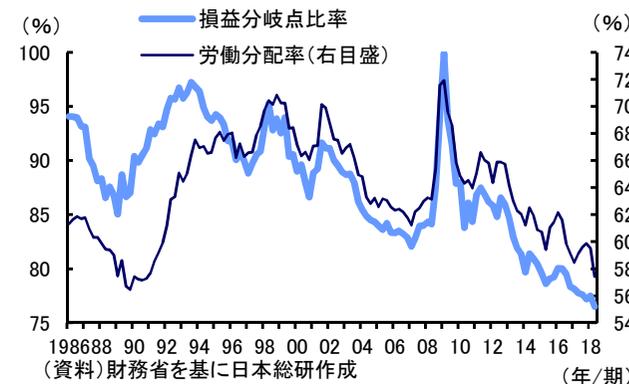
もっとも、人口減少下で国内の成長期待が高まりにくいほか、米中貿易摩擦など輸出環境の不透明感が強まるなか、収益の改善に比べると設備投資の勢いは緩やかにとどまる見通し。

日銀短観の売上高経常利益率(全規模)



(資料)日本銀行
(注)2018年度は計画。

労働分配率と損益分岐点比率



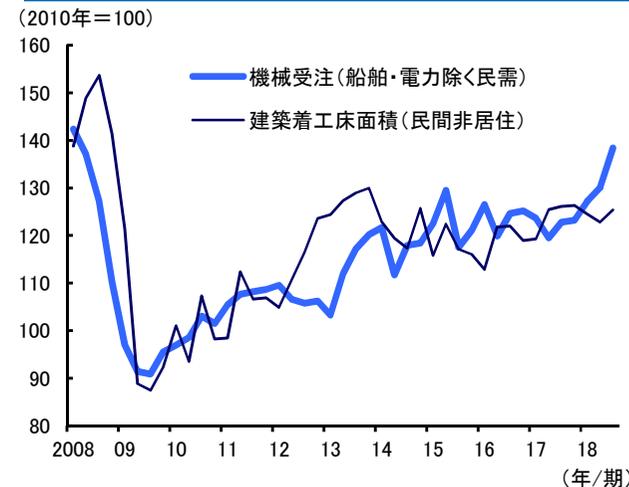
(資料)財務省を基に日本総研作成
(注)損益分岐点比率=損益分岐点売上高÷売上高
損益分岐点売上高=固定費÷(1-(変動費÷売上高))
固定費=人件費+減価償却費+支払利息等
変動費=売上原価+販管費-人件費-減価償却費
労働分配率=人件費÷(経常利益+人件費+減価償却費+受取利息等)

上場企業の設備投資と研究開発



(資料)財務データベース「SPEEDA」を基に日本総研作成
(注)2001～17年度の売上高、研究開発費、設備投資額が取得可能な東証33業種分類の製造業16業種約900社。
促進/抑制は、2003～12年度の累積売上高研究開発費率の各業種平均を基準に分類。

設備投資先行指標(季調値)



(資料)内閣府、国土交通省を基に日本総研作成
(注)直近四半期は、機械受注が7～8月値。

所得は堅調に回復

◆改善続く雇用・所得環境

雇用情勢は改善が持続。2015年以降、正規雇用の増加基調が定着するなど、雇用の質が大きく改善。一方、非正規雇用者も、本年入り後大きく増加。保育所の整備や働き方改革の進展などから、女性を中心に非労働力からパートタイム労働者へのシフトが進行したことが背景。

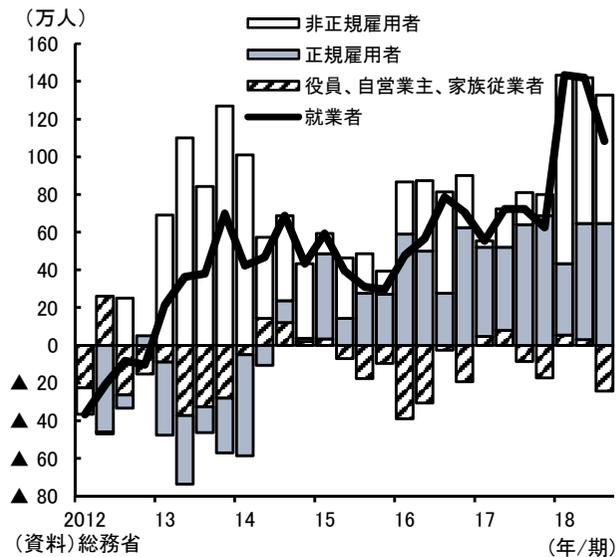
労働需給のタイト化などにより、名目賃金の上昇ペースもやや加速。サンプル替えなどの影響を除去しても、フルタイム労働者の所定内給与が加速している姿。今年の夏季賞与についても、幅広い業種で例年以上に上昇。

◆実質所得は堅調に拡大

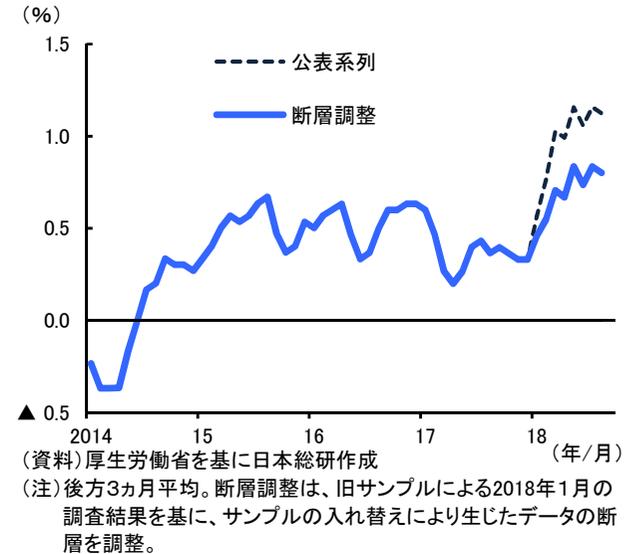
先行きを展望すると、全業種でバブル期を上回る人手不足状態になっており、今後も労働需給は逼迫した状況が続く公算大。この結果、雇用・名目賃金ともに改善が続く見込み。

7～9月期の実質雇用者報酬は、原油・野菜の価格高騰が下押ししたものの、名目賃金の上昇から前年比2～3%台の伸びが続くと予想。2019年以降は、物価上昇などを受けて増勢は鈍化するものの、1%台半ばの伸びは維持する見込み。

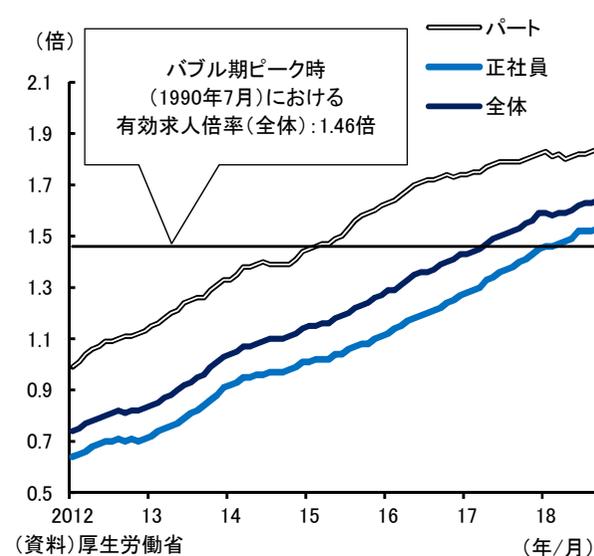
就業者数(前年差)



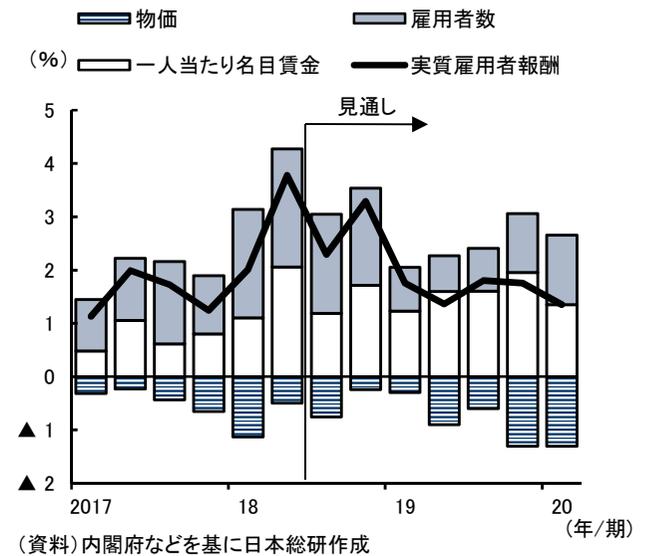
一般労働者の所定内給与(前年比)



有効求人倍率(季調値)



実質雇用者報酬(前年比)



足踏みしている個人消費は持ち直しへ

◆個人消費は足踏み

個人消費はこのところ足踏み状態。9月は台風や地震といった自然災害による外出控えや、原油・野菜価格の高騰が家計消費を下押し。9月の自動車販売も、軽自動車に新車効果がみられるなかでも、前年比マイナスに。特に、北海道や近畿では、消費者マインドも悪化。

もっとも、良好な雇用・所得環境を背景に、サービス消費では回復が持続。外食では、値上げや季節メニューの訴求等による客単価の上昇が売上を押し上げ。耐久財消費でも、自動車販売が10月には大きくリバウンド。

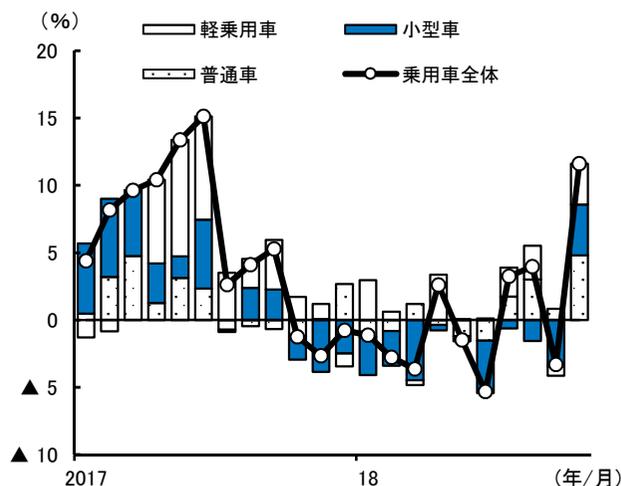
先行きを展望すると、天候要因などで振れやすくなっているものの、雇用・所得環境の改善が続くことから、個人消費は再び緩やかに持ち直していく見通し。

◆住宅投資は弱い動きが持続

住宅着工戸数は弱い動きが続く見通し。とりわけ、貸家では、一部のサブリース契約の問題化や空室率の高止まりを受けた供給過剰懸念などを背景に前年割れが続く見込み。分譲住宅でも、首都圏を中心に用地の取得が難しい状況が続く、着工水準は下がる公算大。

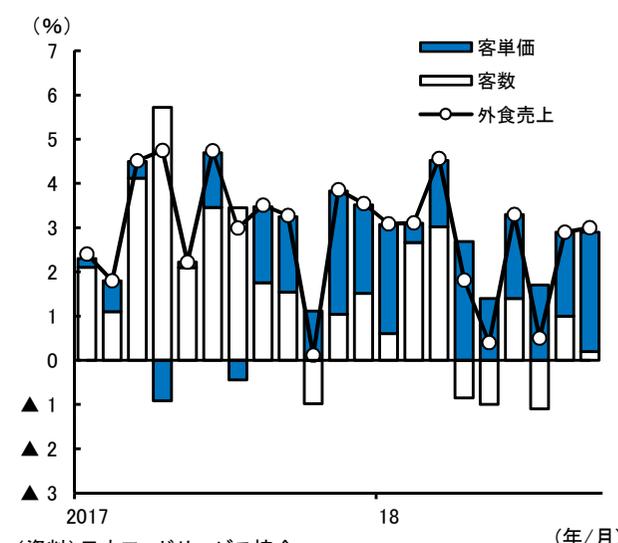
一方、持家については、雇用・所得環境の改善に加え、2019年10月の消費増税前の駆け込み需要を背景に、持ち直していく見込み。実際、2018年7～9月期の住宅景況判断指数（戸建注文住宅）は緩やかな回復傾向。

乗用車販売台数(前年比)



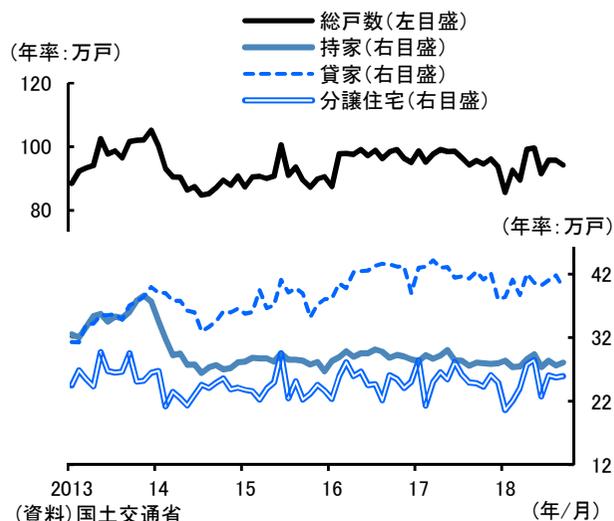
(資料)日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会を基に日本総研作成

外食産業売上高(前年比)



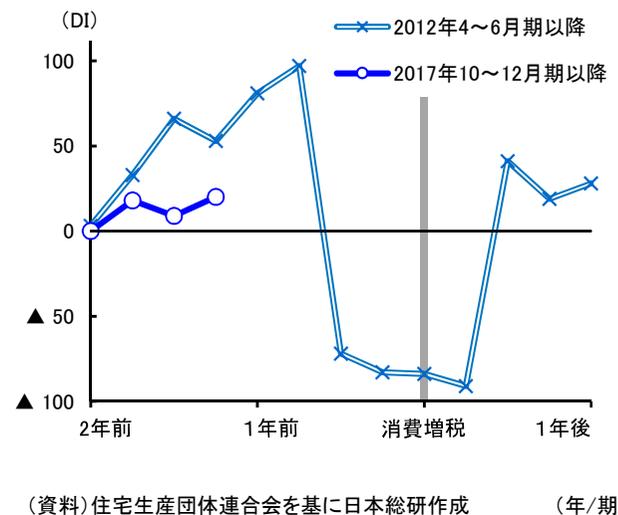
(資料)日本フードサービス協会

住宅着工件数(季調値)



(資料)国土交通省

住宅景況判断指数(戸建注文住宅)



(資料)住宅生産団体連合会を基に日本総研作成

トピック：わが国における労働供給の拡大余地

◆労働供給の天井に接近

アベノミクス開始以降、失業率が低下するなか、就業者数は年50万人のペースで増加。現在の失業率の低下ペースが持続すれば、数年後にはバブル期ピークと同水準まで低下することから、労働供給の天井が着実に接近。

◆未稼働労働力に活用余地

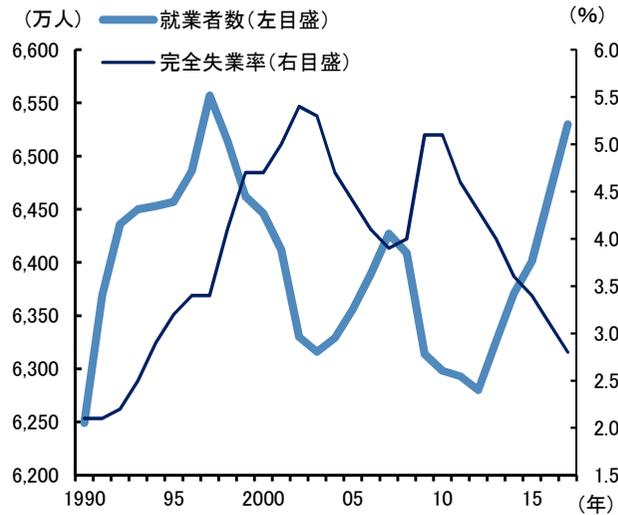
もっとも、現在稼働していない労働力には約500万人の活用余地。

第1に、65歳以上のシニア労働力。過去5年間で労働需要の高まりなどを背景にシニア就業者は約200万人増加。一方、就業を希望しながらも就業できていないシニアも、2017年には約200万人存在。背景には、年齢・勤務時間・スキルなどで、シニアと企業の間で労働条件のミスマッチが存在することなどが指摘可能。

第2に、女性労働力。女性の就業率は緩やかに上昇しており、いわゆるM字カーブは解消しつつある状況。もっとも、子育てに割く時間が制約となるため、働く意欲はあるものの、働けない女性は、2017年に約300万人存在。さらに、本人の希望よりも実際の勤務時間が短い女性労働者は130万人存在。背景には、育児・介護などによりフルタイム労働が困難であることが指摘可能。

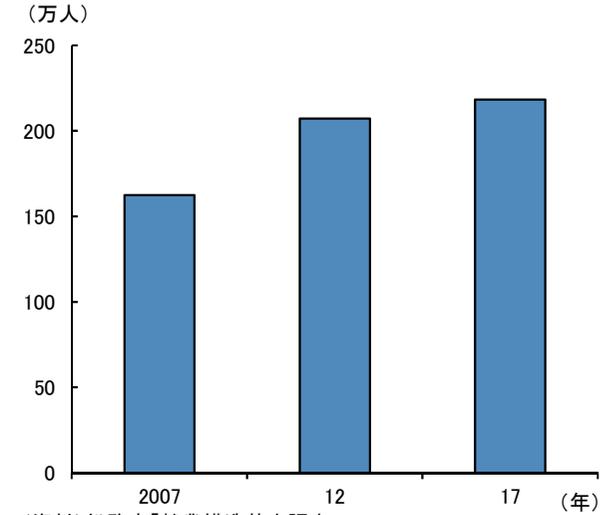
こうした潜在的な労働力を顕在化させることができれば、労働供給の天井到達を先延ばしすることが可能。そのためには、企業による多様で柔軟な働き方の提供や、政府による保育所の設置といった、仕事と育児を両立しやすい環境の整備が不可欠。

就業者数と完全失業率



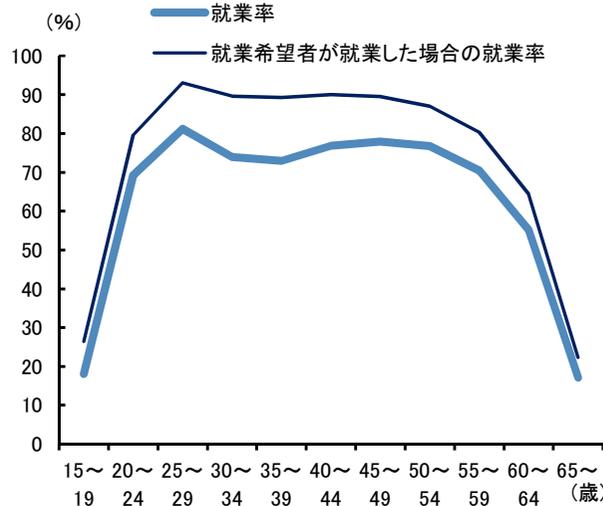
(資料)総務省「労働力調査」

シニアにおける就業希望の無業者



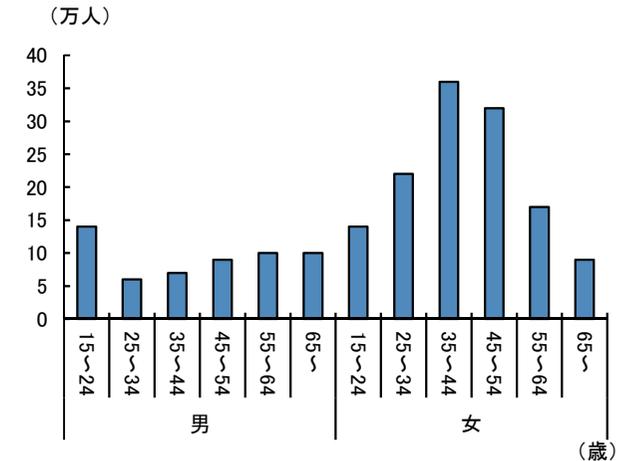
(資料)総務省「就業構造基本調査」

女性の就業率(2017年)



(資料)総務省「就業構造基本調査」を基に日本総研作成

労働時間の増加を希望する就業者



(資料)総務省「労働力調査」

(注)週35時間未満の就業時間で、就業時間の増加を希望しており、就業時間の追加ができる就業者。

内需にけん引される形で景気回復が続く見込み

◆内需が景気回復をけん引

先行きを展望すると、自然災害の影響が一巡するに伴い、景気は再び回復軌道に復帰する見込み。

企業は、研究開発投資や設備の更新投資、省力化投資を積極化。収益環境の改善を背景に、中小企業の設備投資マインドも好転しており、旺盛な投資需要が景気をけん引する見込み。

家計部門では、企業が人件費の拡大に前向きになるなか、賃金の上昇ペースはやや高まる方向。これまでのような雇用者数の増加が家計所得を押し上げるだけでなく、より実感の伴った所得増加へとシフトし、個人消費にも徐々に明るさが出てくる見込み。

◆2019年度も1%近い成長を維持

2019年度は、10月に予定されている消費増税に伴う購買力の低下が個人消費を下押しすることで、成長率が鈍化。もつとも、今回は2014年と比べて税率の引き上げ幅が小さいほか、所得税・社会保障関連の負担増も小さいことから、個人消費の大幅な落ち込みは回避される見通し。結果として、1%程度の成長は維持できる見込み。

わが国主要経済指標の予測値(2018年11月2日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2017年		2018年				2019年				2020年	2016年度			
	7~9 (実績)	10~12	1~3	4~6	7~9 (予測)	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	(実績)	2017年度	2018年度	2019年度
実質GDP	2.3	0.9	▲0.9	3.0	1.0	1.8	1.6	1.4	2.0	▲3.6	2.1	1.2	1.6	1.4	1.0
個人消費	▲2.7	1.4	▲0.8	2.9	1.8	1.2	1.5	1.8	4.0	▲9.0	2.8	0.3	0.8	1.1	0.7
住宅投資	▲5.6	▲11.5	▲9.6	▲9.3	1.0	3.3	8.1	0.0	▲2.4	▲9.9	▲7.2	6.2	▲0.4	▲5.0	▲0.3
設備投資	5.4	3.5	2.7	12.8	▲3.1	3.3	3.8	2.9	2.8	2.6	2.6	1.2	3.1	4.4	2.7
在庫投資 (寄与度)	(1.5)	(0.6)	(▲0.8)	(0.0)	(▲0.1)	(0.2)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.5)	(0.3)	(0.3)	(▲0.3)	(0.1)	(0.0)	(▲0.1)
政府消費	0.3	0.2	0.0	0.8	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.7	0.6	0.7
公共投資	▲10.9	▲2.4	▲1.6	0.1	8.0	0.5	▲6.2	0.0	1.0	0.5	0.3	0.9	1.4	0.1	▲0.4
純輸出 (寄与度)	(2.3)	(▲0.6)	(0.3)	(▲0.5)	(0.3)	(0.2)	(0.1)	(▲0.1)	(▲0.3)	(1.0)	(0.0)	(0.8)	(0.4)	(0.1)	(0.1)
輸出	8.6	8.8	2.6	0.9	2.6	3.5	3.4	3.0	3.0	2.6	2.6	3.6	6.3	3.4	3.0
輸入	▲5.7	14.0	0.7	3.8	1.1	2.7	3.0	3.4	4.5	▲3.0	2.7	▲0.8	4.1	3.1	2.4

(前年同期比、%)

名目GDP	2.1	2.0	1.5	1.4	1.1	1.4	2.6	2.3	2.6	1.6	1.7	1.0	1.7	1.6	2.0
GDPデフレーター	0.1	0.1	0.5	0.1	0.1	0.1	0.7	0.7	0.8	1.3	1.2	▲0.2	0.1	0.2	1.0
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	0.9	0.8	0.8	0.9	1.1	1.1	1.1	1.0	2.0	1.9	▲0.2	0.7	1.0	1.5
(除く生鮮、消費税)	0.6	0.9	0.8	0.8	0.9	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	▲0.2	0.7	1.0	1.0
鉱工業生産	3.9	4.6	2.3	1.9	▲0.2	0.2	1.2	0.3	2.2	0.7	0.5	1.1	4.1	0.8	0.9

完全失業率 (%)	2.8	2.7	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	3.0	2.7	2.4	2.4
経常収支 (兆円)	7.01	4.33	5.81	4.26	5.16	3.84	7.70	5.26	6.79	3.69	6.92	21.02	21.74	21.67	22.66
対名目GDP比 (%)	5.2	3.0	4.2	3.1	3.8	2.6	5.5	3.8	4.9	2.5	4.9	3.9	4.0	3.9	4.0
円ドル相場 (円/ドル)	111	113	108	109	111	113	114	113	111	110	109	108	111	112	111
原油輸入価格 (ドル/バレル)	50	58	67	71	76	80	74	73	73	73	73	47	57	75	73

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを
基に日本総研作成

(注)2018年10月31日公表の2018年7~9月期1次
QE予測は反映せず

海外経済の前提

(前年比、%)

	2017年	2018年	2019年
	(実績)	(予測)	
米国	2.2	2.9	2.6
ユーロ圏	2.4	1.9	1.6
中国	6.9	6.6	6.4

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2017年度	2018年度	2019年度
	(予測)	(予測)	
8月号	1.6	1.3	1.0
9月号	1.6	1.3	1.0
10月号	1.6	1.4	1.0

物価は前年比+1%近傍、長期金利は0.1%近辺で推移

◆物価はジリ高

コアCPI上昇率は、エネルギーや食料などを中心に、ジリ高で推移。

先行きは、雇用・所得環境の改善を背景に、需給面からの上昇圧力は強まる一方で、エネルギー価格の騰勢が徐々に鈍化するため、当面は前年比+1%近傍で推移する見通し。

◆短期金利は現行水準を維持

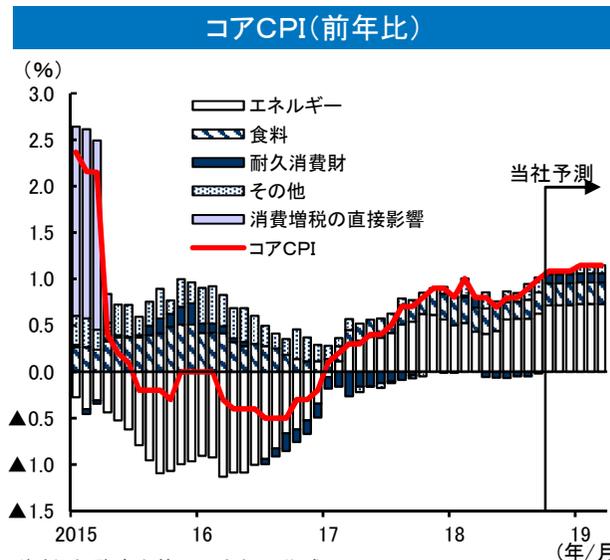
日銀は、2018年10月の金融政策決定会合で、現状の金融政策の維持を決定。展望レポートで物価見通しを小幅下方修正するなか、10年物国債金利をゼロ%程度とする枠組みを堅持。そのもとで、市場機能の低下を回避するため、ある程度の金利変動を容認する姿勢を当分の間継続。

短期金利については、現行の目標水準(▲0.1%)を維持する見込み。

◆長期金利は0.1%近辺で推移

長期金利は、初旬は米長期金利の上昇に連動して、0.15%まで上昇。もっとも、中旬以降は、株安に伴う投資家のリスク回避の動きから、国債に対する買いが集まったため、0.1%近くまで低下。

先行きは、投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから低下圧力が強まる局面も。もっとも、米利上げ見通しに連動した上昇圧力や、日銀によるオペが減額されるとの思惑から、0.05~0.2%のレンジ圏で推移する見通し。

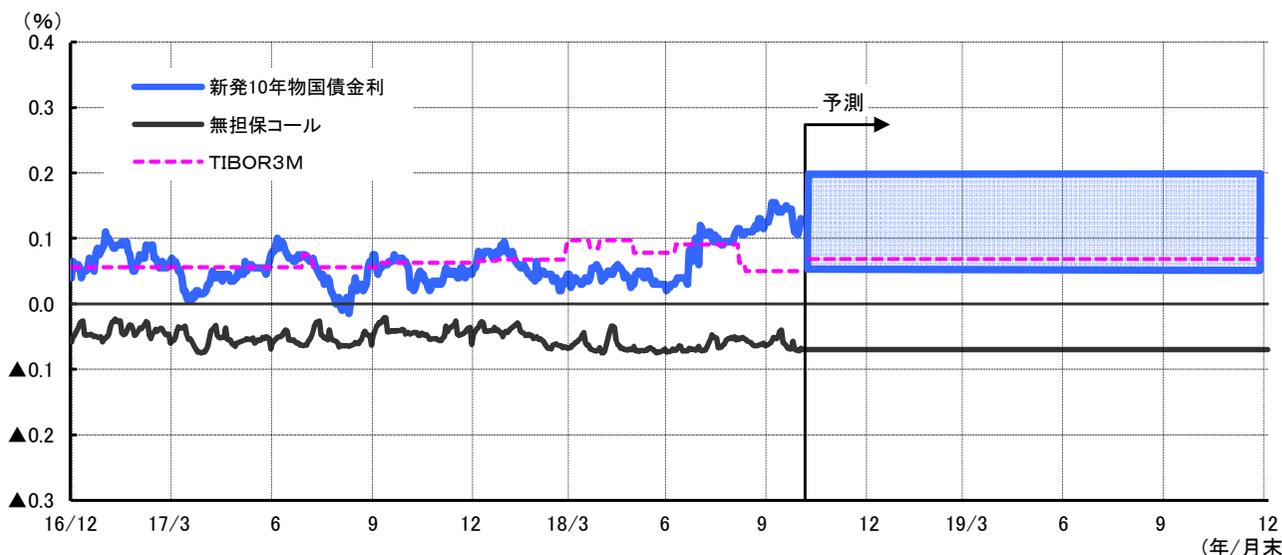


(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)
2018年度	+1.3~+1.5 <+1.4>	+0.9~+1.0 <+0.9>
7月時点	+1.3~+1.5 <+1.5>	+1.0~+1.2 <+1.1>
2019年度	+0.8~+0.9 <+0.8>	+1.3~+1.5 <+1.4>
7月時点	+0.7~+0.9 <+0.8>	+1.3~+1.6 <+1.5>
2020年度	+0.6~+0.9 <+0.8>	+1.4~+1.6 <+1.5>
7月時点	+0.6~+0.9 <+0.8>	+1.4~+1.6 <+1.6>

(資料)日本銀行
(注1)<>内は中央値。
(注2)2019、2020年度の消費者物価は、消費税率引き上げの影響を除く。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.74	0.03	0.26
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.24	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.16	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36
17/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	112.93	133.68	22769.89	1809.61	1.30	1.60	2.41	24545.38	▲ 0.33	0.35
18/1	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.28	▲ 0.13	0.08	1.48	1.00	110.97	135.28	23712.21	1882.57	1.41	1.73	2.57	25804.02	▲ 0.33	0.55
18/2	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.15	0.07	1.48	1.00	107.86	133.14	21991.68	1766.57	1.42	1.87	2.86	24981.55	▲ 0.33	0.72
18/3	▲ 0.06	0.07	0.12	0.05	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	106.10	130.87	21395.51	1716.27	1.51	2.17	2.84	24582.17	▲ 0.33	0.59
18/4	▲ 0.06	0.09	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.14	0.05	1.48	1.00	107.62	132.08	21868.79	1737.42	1.69	2.35	2.87	24304.21	▲ 0.33	0.55
18/5	▲ 0.06	0.10	0.13	0.05	0.11	0.27	▲ 0.13	0.05	1.48	1.00	109.71	129.59	22590.05	1783.96	1.70	2.34	2.98	24572.53	▲ 0.33	0.52
18/6	▲ 0.07	0.08	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.13	0.04	1.48	1.00	110.13	128.55	22562.88	1762.48	1.82	2.33	2.91	24790.11	▲ 0.32	0.40
18/7	▲ 0.07	0.09	0.11	0.04	0.10	0.27	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	111.47	130.27	22309.06	1729.12	1.91	2.34	2.89	24978.23	▲ 0.32	0.36
18/8	▲ 0.06	0.09	0.11	0.05	0.13	0.33	▲ 0.11	0.11	1.48	1.00	111.03	128.22	22494.14	1721.03	1.91	2.32	2.89	25629.99	▲ 0.32	0.36
18/9	▲ 0.06	0.06	0.11	0.06	0.14	0.34	▲ 0.11	0.12	1.48	1.00	112.05	130.62	23159.29	1746.41	1.95	2.35	2.99	26232.67	▲ 0.32	0.44
18/10	▲ 0.06	0.05	0.11	0.06	0.14	0.35	▲ 0.12	0.14	1.48	1.00	112.79	129.49	22690.78	1703.85	2.19	2.46	3.16	25609.34	▲ 0.32	0.46